



## 安心して居られる場をつくる小さな工夫

所長 蔦澤 透

教育支援センターは、不登校児童・生徒が安心して過ごせる場となるよう、小さな工夫に努めています。

年度当初にまず手掛けたのはネームプレートです。支援員は名札をつけていますので、「〇〇先生」と声をかけてくれることがあります。互いを知ることにより有効な名札に代わるものとして児童・生徒にネームプレートを用意しています。通室した際に自分のネームプレートをとり座席に置きます。毎日通室する生徒の座席にはネームプレートを固定しています。生徒は「決まった席に座れると安心できる」と言います。

今年度、ネームプレートをリニューアルしました。今までは白い紙に印刷したものをラミネートし三角に折ったものでした。手間がかかる割には無機質で冷たい感じのする面白みのないネームプレートでした。そこで、木片の台座にコルク紙を挟む温かみのあるプレートにしました。ケーキ店などのポップに使われているので良い印象は折り紙付きです。名前をクラフト紙のラベルシールに印刷し全体の調子を整え机の天板に馴染むようにしました。生徒の感想も肯定的ですので「〇」でしょう。

各自の机が用意されたとしてもオープンな空間では気が引けるといふ子には、個別スペースで区切ったテーブルの[学習室2]を用意しています。支援員が時折声をかけることを了解してもらい、安心して居られる空間で学習しています。

これからも居心地を良くする小さな工夫を積み重ねていきます。



【学習室2の個別スペース】  
奥にいる生徒の背中の一部しか見えません



4月の手作りカレンダー  
小学生が主となり制作しました

